

注3

大学番号：私157

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

駒沢女子大学 人間健康学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駒澤学園

平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学短大事務部教務課

職名・氏名 カチョウ ヤジリ カズノリ
課長 矢尻 和範

電話番号 042-350-7111

（夜間） 042-350-7111

F A X 042-350-7112

e-mail daigaku@komajo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	9
4	既設大学等の状況	10
5	教員組織の状況	11
6	留意事項に対する履行状況等	16
7	その他全般的事項	17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 駒澤学園

(2) 大学名

駒沢女子大学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナガオ ミチユキ) 長尾 通之 (平成21年4月)	(カツラギ テンカイ) 葛城 天快 (平成22年6月)	平成22年6月理事長交代により変更(23)
学長	(トダ ヒロキ) 戸田 洋樹 (平成21年4月)	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)	平成23年4月学長交代により変更(23)
学部長	(シバヤマ マサハル) 芝山 正治 (平成21年4月)	(ニシヤマ イチロウ) 西山 一朗 (平成21年4月)	平成21年3月芝山正治教授が学部長就任辞退により変更(21)
学科長等	(カワノ セイコ) 川野 誠子 (平成21年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間健康学部 健康栄養学科 学士(健康栄養)	4年	80人	年次 0人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 80 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 80 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	0.91倍	
志願者数	97 (-) [-]	- (-) [-]	372 (-) [-]	- (-) [-]	484 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	92 (-) [-]	- (-) [-]	362 (-) [-]	- (-) [-]	472 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	86 (-) [-]	- (-) [-]	119 (-) [-]	- (-) [-]	132 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	56 (-) [-]	- (-) [-]	80 (-) [-]	- (-) [-]	83 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.70		1.00		1.03							

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 56	[-] -	[-] 80	[-] -	[-] 83	[-] -	[]	[]	
2年次	/		[-] 56	[-] -	[-] 77	[-] -	[]	[]	
3年次			/		/		[-] 56	[-] -	[]
4年次	/						/		/
計			[-] 56	[-] 136	[-] 216	[]			

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0.0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 56人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	2.3%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 56人	
	うち平成22年度入学者 3人	うち平成22年度 77人	
	(主な退学理由) ・就学意欲の低下 1名 ・学力不足 1名 ・家庭の事情 1名		
平成 年度 (平成 年 月 日～ 平成 年 月 日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成 年度入学者 人	うち平成 年度 人	
	うち平成 年度入学者 人	うち平成 年度 人	
	うち平成 年度入学者 人	うち平成 年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間健康学部 健康栄養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	仏教学Ⅰ	1前	2								
	仏教学Ⅱ	1後	2								
	日本文学	1・2・3・4前		2							
	外国文学	1・2・3・4後		2							
	日本史	1・2・3・4前		2							
	西洋文化史	1・2・3・4後		2							
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2								
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2								
	人間学Ⅰ	1・2・3・4前		2		1					
	人間学Ⅱ	1・2・3・4後		2		1					
	倫理学	1・2・3・4前		2		1					
	社会学Ⅰ	1・2・3・4前		2							
	社会学Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	政治学Ⅰ	1・2・3・4前		2							
	政治学Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	法学	1・2・3・4後		2							
	生物学Ⅰ	1前		2							
	生物学Ⅱ	1後		2							
	化学Ⅰ	1前		2							
	化学Ⅱ	1後		2							
	統計の基礎	1・2前		2							
	統計の応用	1・2後		2							
小計(22科目)			8	36	0	1	0	0	0	0	
臨床心理関連科目	臨床心理学Ⅰ	1・2前	2								
	臨床心理学Ⅱ	1・2後	2								
	臨床心理学Ⅲ	3・4前		2							
	臨床心理学Ⅳ	3・4後		2							
	小計(4科目)		4	4	0	0	0	0	0	0	
情報科学科目	情報処理	1・2後		2		1					
	コンピュータ演習Ⅰ	1・2前	1			1					
	コンピュータ演習Ⅱ	1・2後		1		1					
	小計(3科目)		1	3	0	1	0	0	0	0	
外国語科目	英語Ⅰ	1前	1			1					
	英語Ⅱ	1後	1			1					
	英語Ⅲ	2前	1			1					
	英語Ⅳ	2後	1			1					
	基礎ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前		1							
	基礎ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4後		1							
	基礎フランス語Ⅰ	1・2・3・4前		1							
	基礎フランス語Ⅱ	1・2・3・4後		1							
小計(8科目)		4	4	0	1	0	0	0	0		
体育科目	スポーツⅠ	1・2・3・4前	1			1					
	スポーツⅡ	1・2・3・4後	1			1					
	スポーツⅢ	2・3・4前		1		1					
	小計(3科目)		2	1	0	1	0	0	0	0	
基礎ゼミ	基礎ゼミⅠ	1前	1				3	2	1		
	基礎ゼミⅡ	1後	1				3	2	1		
	小計(2科目)		2	0	0	0	3	2	1	0	
小計(42科目)			21	48	0	4	3	2	1	0	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専門 基礎 科目	社会福祉概論	3前	2								
	介護福祉概論	4前		2							
	保健医療福祉論	4前		2							
	公衆衛生学Ⅰ	3前	2								
	公衆衛生学Ⅱ	3後	2								
	健康管理概論	1・2前		2							
	小計（6科目）		6	6	0	0	0	0	0	0	
	生化学Ⅰ	2前	2			1					
	生化学Ⅱ	2後	2			1					
	生化学実験Ⅰ	2後	1			1				1	
	生化学実験Ⅱ	3前	1			1				1	
	解剖生理学	1後	2			2					
	解剖生理学実験	2前	1			2				2	
	栄養生理学	3前	2					1			
	栄養生理学実験	3後	1					1		1	
	微生物学	2前	2								
	病理学	2前	2			2					
	運動生理学	4前	2			1					
	臨床医学論	2後		2		1					
	小計（12科目）		18	2	0	4	0	1	0	5	
	食品学Ⅰ	1前	2			1					
	食品学Ⅱ	1後	2			1					
	食品学実験Ⅰ	2前	1			1				1	
	食品学実験Ⅱ	2後	1			1				1	
	食品学実験Ⅲ	3前		1		1				1	
	食品衛生学	2後	2								
	食品衛生学実験	3前	1							1	
	食品加工学	3前		2							
	食品開発論	4前		2							
	食品バイオテクノロジー	4前		2							
	調理学	1前	2								
	調理学実験	3前	1						1	1	
調理学実習Ⅰ	1後	1				1			1		
調理学実習Ⅱ	2前	1				1			1		
小計（14科目）		14	7	0	1	1	0	1	5		
小計（32科目）		38	15	0	5	1	1	1	3		
専門 科目	基礎栄養学	1後	2					1			
	基礎栄養学実習	2前	1					1		1	
	小計（2科目）		3	0	0	0	0	1	0	1	
	応用栄養学Ⅰ（母性・小児期）	2後	2					1			
	応用栄養学Ⅱ（成人期）	3前	2					1			
	応用栄養学Ⅲ（高齢期）	3後	2								
	応用栄養学実習	3後	1					1		1	
	スポーツ栄養学	4前		2							
	食介護論	4前		2							
	小計（6科目）		7	4	0	0	0	1	0	1	
	栄養教育論Ⅰ	2後	2				1				
	栄養教育論Ⅱ	3前	2				1				
	栄養教育論Ⅲ	3後	2				1				
	栄養教育論実習Ⅰ	3前	1				1			1	
栄養教育論実習Ⅱ	3後	1							1		
カウンセリング論	4前	2									
小計（6科目）		10	0	0	0	1	0	0	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	臨床栄養学概論Ⅰ	2前	2				1				
	臨床栄養学概論Ⅱ	2後	2				1				
	臨床栄養学Ⅰ	3前	2								
	臨床栄養学Ⅱ	3後	2								
	臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1				1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1				1				1
	栄養食事療法実習	3後		1							1
	小計(7科目)		10	1	0	0	1	0	0	0	3
	公衆栄養学Ⅰ	3前	2				1				
	公衆栄養学Ⅱ	3後	2				1				
	公衆栄養学実習	4前	1				1				1
	小計(3科目)		5	0	0	1	0	0	0	0	1
	給食経営管理論Ⅰ	2前	2						1		
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2						1		
	給食経営管理論実習	2後	1						1		2
	給食計画論演習	2前		1			1				1
	小計(4科目)		5	1	0	0	1	1	0	0	3
	総合演習Ⅰ	4前	1				4	4	3	1	
	総合演習Ⅱ	4後	1				4	4	3	1	
	小計(2科目)		2	0	0	4	4	3	1	0	
	臨地実習Ⅰ	3前	2				1	1	1	1	5
	臨地実習Ⅱ	3後	2				1	1	1	1	5
	臨地実習Ⅲ	4前		2			1	1	1	1	5
	小計(3科目)		4	2	0	0	3	2	1	1	5
	卒業研究	4通		2			4	1	3	1	
	小計(1科目)		0	2	0	4	1	3	1	0	
	フードスペシャリスト論	2後		2			1				
	フードコーディネータ論	2後		2							
	官能評価論	3前		2							
	食品流通論	3前		2							
	小計(4科目)		0	8	0	0	1	0	0	0	0
	小計(38科目)		46	18	0	4	4	3	1	5	
	小計(70科目)		84	33	0	6	6	3	1	5	
	合計(112科目)		105	81	0	9	4	3	1	5	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
67	45	0	112	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号		単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の一部及び 運動場用地は、駒沢 女子短期大学と共 用。			
	校舎敷地	0 m ²	111,608 m ²	0 m ²	111,608 m ²				
	運動場用地	0 m ²	28,403 m ²	0 m ²	28,403 m ²				
	小 計	0 m ²	140,011 m ²	0 m ²	140,011 m ²				
	そ の 他	0 m ²	66,331 m ²	0 m ²	66,331 m ²				
	合 計	0 m ²	206,342 m ²	0 m ²	206,342 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女 子短期大学と共用。			
		3,257 m ² (3,257 m ²)	20,535 m ² (20,535 m ²)	7,740 m ² (7,740 m ²)	31,352 m ² (31,352 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	25室	25室	15室	8室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		新設学部全体			
	人間健康学部			19 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	新設学部全体	
	人間健康学部	7,400 [1,600] (7,608 [1,406])	44 [27] (34 [17])	3 [3] (1 [1])	66 (66)	1,720 (1,983)	17 (17)		
	計	7,400 [1,600] (7,608 [1,406])	44 [27] (34 [17])	3 [3] (1 [1])	66 (66)	1,720 (1,983)	17 (17)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	4,889 m ²		324		237,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,726 m ²		テニスコート3面		-				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	新設学部全体
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	20,000千円	6,239千円	6,239千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	209,316千円	1,269千円	1,269千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,400千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

5 教員組織の状況

<人間健康学部 健康栄養学科>

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	戸田 洋樹	平成21年4月	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理学						
専	教授	芝山 正治	平成21年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ 運動生理学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	川野 誠子	平成21年4月	解剖生理学 解剖生理学実験 病理学						
専	教授	佐藤 加代子	平成21年4月	公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	鈴木 賢司	平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
専	教授	下橋 淳子	平成21年4月	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品学実験Ⅲ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	末木 俊之	平成21年4月	情報処理 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ						
専	教授	西山 一郎	平成21年4月	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	佐藤 勝重	平成21年4月	解剖生理学 解剖生理学実験 病理学 臨床医学論						
専	准教授	太田 信子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ フードサービス論 臨地実習Ⅲ						

専	准教授	篠原 能子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 給食計画論演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨地実習Ⅰ						
専	准教授	高橋 史江	平成21年4月	栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	田中 弥生	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 臨床栄養学概論Ⅰ 臨床栄養学概論Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨地実習Ⅱ						
専	講師	韓 順子		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨地実習Ⅰ						
専	講師	三浦 麻子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 応用栄養学Ⅰ (母性・小児期) 応用栄養学Ⅱ (成人期) 応用栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨地実習Ⅲ	兼任	講師	真鍋 祐之	平成22年9月	応用栄養学Ⅰ (母性・小児期) 応用栄養学Ⅱ (成人期)	平成23年3月三浦麻子先生の自己都合による担当者の変更(23)
					兼任	講師	川名 伸二	平成23年4月	応用栄養学Ⅰ (母性・小児期) 応用栄養学Ⅱ (成人期)	平成23年3月三浦麻子先生の自己都合による担当者の変更(23)
					兼任	講師	目加田 優子	平成23年4月	応用栄養学実習 ｽﾎｰﾝ栄養学	平成23年3月三浦麻子先生の自己都合による担当者の変更(23)
専	講師	曾我部(塚越) 夏子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 栄養生理学 栄養生理学実験 基礎栄養学 基礎栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	助教	松森 慎悟	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 調理学実験 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ						
兼任	教授	藤田 啓子	平成21年4月	西洋文化史						
兼任	教授	糟谷 恵次	平成21年4月	外国文学 基礎ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語Ⅱ						
兼任	教授	倉本 一宏	平成21年4月	日本史	兼任	講師	下川 雅弘	平成21年4月	日本史	平成21年3月倉本一宏教授就任辞退による担当者の変更(21)
兼任	准教授	福王 守	平成21年4月	法学						
兼任	講師	松岡 努	平成21年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅳ						

兼任	講師	藤川 麗	平成21年4月	臨床心理学Ⅱ 臨床心理学Ⅲ	兼任	講師	藤代 有美子	平成23年4月	臨床心理学Ⅱ	平成23年4月藤川麗先生就任辞退による担当者の変更(23)
兼任	講師	久野 譜也	平成21年4月	健康管理概論						
兼任	講師	寺本 あい	平成21年4月	調理学 官能評価論						
兼任	講師	吉野 菜穂子	平成21年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ カウンセリング論						
兼任	講師	小早川 浩大	平成21年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ						
兼任	講師	松村 良	平成21年4月	日本文学						
兼任	講師	大貫 恵佳	平成21年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ						
兼任	講師	原田 徹	平成21年4月	政治学Ⅰ 政治学Ⅱ						
兼任	講師	丸 美恵	平成21年4月	生物学Ⅰ 生物学Ⅱ	兼任	講師	小田 恵理	平成23年4月	生物学Ⅰ 生物学Ⅱ	平成23年3月丸美恵先生自己都合による担当者の変更(23)
兼任	講師	河合 忍	平成21年4月	化学Ⅰ 化学Ⅱ						
兼任	講師	田端 章明	平成21年4月	統計の基礎 統計の応用						
兼任	講師	杉山 英男	平成22年4月	食品衛生学 食品衛生学実験	兼任	講師	大石 充男	平成22年4月	食品衛生学 食品衛生学実験	平成22年1月杉山英男先生就任辞退による担当者の変更(22)
兼任	講師	田中 尚人	平成22年4月	食品バイオテクノロジー						
兼任	講師	宮武 佳子	平成22年4月	臨床医学論	兼任	講師	宮内 瑞穂	平成22年4月	臨床医学論	平成21年10月宮武佳子先生就任辞退による担当者の変更(22)
兼任	講師	藤原 勝子	平成22年4月	フードコーディネーター論 食品流通論	兼任	講師	森野 恵子	平成22年9月	フードコーディネーター論	平成22年4月藤原勝子先生就任辞退による担当者の変更(23)
					兼任	講師	安倍 澄子	平成23年4月	食品流通論	平成22年4月藤原勝子先生就任辞退による担当者の変更(23)
兼任	講師	岩永 俊博	平成23年4月	公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ						
兼任	講師	津久井 学	平成23年4月	食品加工学						
兼任	講師	川上 純子	平成23年4月	応用栄養学Ⅲ						
兼任	講師	遠藤 慶子	平成23年4月	社会福祉概論						
兼任	講師	江田 節子	平成23年4月	栄養教育論実習Ⅱ						
兼任	講師	松崎 政三	平成23年4月	臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ						
兼任	講師	長瀨 幸子	平成23年4月	栄養食事療法実習						

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	4	3	1	17	5	9	4	3	1	17	6	活動充実、強化のため助手を1名追加(23)
(9)	(4)	(3)	(1)	(17)	(5)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由 該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (20年11月)	校舎が駒沢女子短期大学と共用であるので、教育研究に支障のないようにすること。	短期大学と十分な連携を保ちながら時間割作成、教場決定を行い、また、実験用機器類を使用することにより、教育研究への支障を生じないように配慮した。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人間健康学部 健康栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

駒沢女子大学点検・評価・改善委員会が設置されており、本学部からは3名の委員が選出されている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成22年5月20日に開催され、全学10名の委員のうち9名が出席した。

平成22年10月21日に開催され、全学10名の委員全員が出席した。

平成22年11月18日に開催され、全学10名の委員のうち9名が出席した。

平成22年12月16日に開催され、全学10名の委員のうち8名が出席した。

平成23年1月20日に開催され、全学10名の委員のうち7名が出席した。

c 委員会の審議事項等

平成22年5月20日： 授業アンケートの質問項目ならびに結果解析の方法に関する検討、学修ポートフォリオの効果についての検討、学内公開授業およびFD研修会の検討など

平成22年10月21日： 大学の情報公開に関する検討、次回認証評価の準備についての検討、FD研修会アンケート結果についての検討など

平成22年11月18日： 大学評価「内部質保証」のための「学外者による評価の反映」についての検討、GPA制度の導入についての報告、シラバスの様式に関する報告など

平成22年12月16日： 大学情報公開の進捗状況についての報告、第16回FDフォーラム「組織的FDの取り組み」（大学コンソーシアム京都主催）についての報告など

平成23年1月20日： 大学情報公開の様式についての検討、第16回FDフォーラム「組織的FDの取り組み」（大学コンソーシアム京都主催）への派遣教員の選定など

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- (1) 導入教育としての「基礎ゼミ」のあり方に関する検討会
- (2) 授業評価アンケート

b 実施方法

- (1) 基礎ゼミ担当者を中心とした検討会（学部内）
- (2) 学生による授業評価アンケート（全学的）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 平成23年2月7日、8名出席
- (2) 開講している全科目で各学期末に実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記(1)で提案された「基礎ゼミ」の教育方法については、後日の学科会にて協議のうえ、実施することとなった。これにより、初年度の導入教育の質が高まることが期待される。また、(2)の授業評価アンケートに関しては、その結果をもとに各教員が自己評価報告書を作成・提出することにより、授業の問題点を認識するとともにその解決策を考え、授業改善に役立っている。専任教員担当の科目については、このアンケート結果と自己評価報告書が図書館で開示されているため、教員相互での参照や点検も可能である。これらの取組のほかにも、平成23年3月24日に兼任教員と専任教員とのカリキュラム連絡会を企画し、教育内容及び教育方法の協議を行い連携を高める予定であったが、大震災のためやむなく中止とした。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 本学部の目的の一つとして、「栄養学」や「食品学」等の食に関する健康の維持・増進に関わる分野や食における健康管理の分野においての専門性を有するとともに、幅広い教養を身につけ、状況に応じて諸問題に対処のできる応用能力を具えた、人間性豊かな人材の育成を掲げている。

健康の維持・増進や健康管理等の専門教育については、設置計画に基づきすべての専門基礎科目ならびに専門科目を予定通り開講することにより達成している。一部の科目でやむを得ない理由による担当教員の変更が生じたが、その場合でも代替教員候補者に個人調書の提出を求め、その教育歴や研究業績等を慎重に検討し人選を行うことにより、教育の質を保つよう努めている。また、専門科目を担当する専任教員ならびに兼任教員の連携も日常的に行っており、専門教育内容の充実を図るとともに、教授法についての改善も試みている。

一方、幅広い教養を身につけさせる目的のためには、それぞれの学年ごとに各年度始めに行っているオリエンテーションにより、教養教育科目を偏りなく履修させるよう個別指導を行っている。また新入生に対しては、このオリエンテーションによる指導に加えて、初年度導入教育科目である「基礎ゼミⅠ」によっても、教養教育科目を偏りなく履修させるよう指導している。

以上の取り組みにより、上記教育目的が達成されているものと判断している。

2. 本学部では、道元禅師の禅の精神に基づく健全な自己と豊かな精神性の確立、行動と知識の一体性、実践と理論の相即性の確立を目標として掲げている。この目的を達成するために、必修科目である「仏教学Ⅰ」および「仏教学Ⅱ」の講義において、上記目的を基礎から習得させている。また、ほぼ毎週月曜日の昼休みに実施している「学燈会（がくとうえ）」によって、禅の精神を理解させるよう努めている。この「学燈会」の内容は毎年冊子としてまとめ、全学生に配付している。さらに、毎年12月1日から8日まで「摂心会（せっしんえ）」という早朝坐禅会も行っており、禅の精神を学ぶための機会となっている。この坐禅会には、本学部専任教員が積極的に参加するとともに、学生の積極的な参加を奨励している。

以上により、目的はほぼ達成されていると判断している。特に「仏教学Ⅰ」および「仏教学Ⅱ」の講義は、現在までのところ不可の判定を受ける学生もなく、全員が単位を取得しているため、上記目的は正しく理解されているものと判断される。一方、「学燈会」ならびに「摂心会」については、皆勤する学生もいる半面、参加に消極的な学生もおり、今後さらに教育効果を高める余地が残されていると考える。

3. 本学部では心のケアに関わる授業科目として「臨床心理学Ⅰ」ならびに「臨床心理学Ⅱ」を開講して、「心」の健康という観点から、食におけるカウンセリングの認識を深めさせることを目的としている。この目的を効率よく達成できるよう、「臨床心理学」を担当する兼任教員と、「栄養教育論」や「臨床栄養学」などの専門科目を担当する専任教員との間で連携を図り、用いるテキストや教育内容についての意見交換を行っている。これにより、学生が「心理学」や「臨床心理学」で学んだ内容を、栄養指導や栄養カウンセリングを通じた健康管理に役立てられるよう配慮している。

この目的が適切に達成されているか否かについては、未だ判定が困難であるが、本年度より開講した「栄養教育論実習」や「臨床栄養学実習」あるいは「臨床実習」等の科目の実施を通して、「臨床心理学Ⅰ」および「臨床心理学Ⅱ」による教育の効果を判定するとともに、その結果を今後の教育にフィードバックしていく予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成24年5月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、国内の大学、その他の教育・研究機関、研究所等に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成24年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 23年 8月 31日予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (<http://www.komajo.ac.jp/uni/establishment>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。